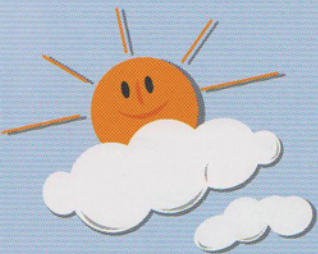


教育コミュニティの  
エンパワメントを  
めざして



# すこやかネット・まつばら



## 5つの ネットワーク

- ① 体験活動のネットワーク
- ② 職場体験学習のネットワーク
- ③ 大人と子どものネットワーク
- ④ ボランティア活動のネットワーク
- ⑤ 子ども同士のネットワーク

「地域の一員・地域の担い手」として  
子どもたちが主体的に担う活動を創ろう!



## 心のふれあい秋まつり

～11月17日(土)松原中学校グラウンド～



また、「松原の歴史」という展示への興味関心も高く、担当者の説明に熱心に聞き入る姿も見かけられ、参加者一人ひとりが楽しめていたようです。中学生ボランティアも活躍しました。

今年度は、昨年度と違い晴天に恵まれました。4,000人以上の地域の方が参加し、ステージ、体験、歴史展示、模擬店等、各コーナーとも、人が途切れることなく大盛況でした。親子や友だち同士で体験を楽しむ姿や、コーナー担当の方から教えてもらいながら一生懸命取り組んでいる姿が、とても印象的でした。今年度は、地域の保育園児、幼稚園児、小・中・高等学校の児童生徒や地域の方々による舞台での発表も多種多様で、たいへん活気に満ちたものになりました。



## 「みんなが過ごしやすく おちついて勉強できる松中づくり」

～松原中学校生徒会活動～



今年度、松原中学校生徒会では、「みんなで考えみんなで創る松中」をスローガンに掲げ、全校生徒にアンケートをとった結果、「みんなが過ごしやすく、落ち着いて勉強できる松中づくり」を今年度の目標に決め、いろいろな行事に取り組みながら、学校づくりを進めています。年間通じては「あいさつ運動」や「ノーチャイム

ムデイ」を行い、また、1学期には「合唱コンクール」を成功させ、クラスの団結力を高めていきました。2学期には5色に分かれて体育大会の応援に取り組み、どの色も一杯やりきりました。日常生活においては、授業集中や清掃活動等に取り組み、一人ひとりが中学生としての自覚を高め、12月には中学校区の小学校(松原小、松原西小、河合小)の6年生に、生徒会が作成したビデオを見てもらいながら中学校生活を紹介し、クラブ体験をしてもらいました。これからもみんなで学校づくりを進めていきます。



## いきいきふれあい祭り



第12回いきいきふれあい祭りが11月18日に松原第二中学校の運動場で開催されました。時折、強い風が吹き心配しましたが、だんじり、みこしが会場に到着する頃から、たくさんの地域の方の参加がありました。

生徒会・児童会の取り組みや、「ダメ、ゼツタイダメ」のTシャツを中学生が着用して薬物乱用防止キャンペーンをしました。高齢者から幼児までたくさん参加があり、参加団体も増え活気のある地域の方の交流の場となりました。



## 校区の子ども同士のふれあい



また、12月2日には、3校統一クリーンキャンペーンで小学生・中学生が合同で清掃活動を行いました。

二中校区地域協の子ども同士のふれあいの取り組みとして、いきいきふれあい祭りでの中学校生徒会・小学校児童会による障害者スポーツ体験コーナーの運営、保・幼・小・中学校からの踊りや歌などの舞台発表を行いました。





## ひゅーまん・タウン・フェスタ

～たった一つの大切な命 あなたもわたしも地域の宝～



第12回三中学校区「ヒューマン・タウン・フェスティバル」が、11月10日(土)に行われました。今年のテーマは、三中学校区から「いじめ」をなくし、「いのち」の大切さを子どもたちに伝えるため、このテーマが生まれました。

オープンセレモニーが、幼稚園児と三中吹奏楽部の共演で始まり、小学生の歌、南中ソーラン、地域の方の生バンドや高校生ボランティアの参加等、今年も大いに盛り上がりました。グラウンドでは40以上の地域の団体が模擬店や

子どもとの交流・体験活動など、いろいろな催しものを行いました。最後のファイナルセレモニーでは「浮世家 秋若社中」のみなさんの音頭で「河内音頭」がこだまし、参加者の踊りの輪がグラウンドいっぱいになりました。

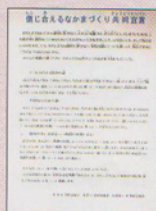


三中学校区の児童会・生徒会のみんで創った!

## 「信じ合えるなかまづくり共同宣言」

松原三中生徒会、布忍小・中央小児童会による「いじめ」をなくし、「いのち」の大切さをアピールする3箇条からなる共同宣言文が創られました。

これは、子どもたち自身が創り上げたものです。原案は三中生徒会が創り、難しい言葉を小学生の意見を採り入れながら、平易な語句に置き換えて創りました。



三中生徒会が呼びかけ、布忍小・中央小の児童会のみなが集まり、この宣言文を創りました。

## いきいき交流フェスタ

10月20日(土)、四中校区いきいき交流フェスタを開催しました。オープニング・セレモニーに続いて、地域交流祭の部(舞台発表)・体験活動の部・模擬店の部の3つの部で、四中のグラウンドはおおにぎわい。地域交流祭の部では、幼稚園の子どもたちのかわいい演技から、小学生の団体演技、中学生のバンド演奏、大学生による大迫力のチアリーディング、地域の方の得意技の披露など、それぞれの発表に、大きな拍手がわき起こりました。

体験活動の部では、地域の方や中学生による、小さな子どもたちを対象に「遊び体験」「車いす体験」「健康チェック」など多くの体験コーナーが開かれました。どのコーナーも好評で、準備していた物がすべてなくなるくらいでした。

模擬店の部は、例年どおりの大盛況。あっという間に長蛇の列ができ、どの店も早い時間帯で完売。模擬店のスタッフは、他の催し物を見に行く余裕もない忙しさでした。

今年は、前日が雨で、当日の朝の準備になってしまいましたが、四中生のみなさんが、とてもよく手伝ってくれ、会場を設営してくれたおかげで、時間通りに開始することができました。それだけでなく、ゴミ拾いや舞台発表のスタッフとして動いてくれました。今年のフェスタは、例年以上に盛り上がり、中学生のがんばりに、頼もしさを感じたフェスタになりました。



## 四中クラブ体験

～小学校放課後・土曜日子ども体験活動で～



四中校区では、学期に一度、小学校土曜日子ども体験活動の一つとして、四中生が小学校に出向き、小学生を対象にクラブ体験を実施しています。1学期は雨のため実施できませんでしたが、12月8日(土)、松原北小学校で、女子バレーボール部・男子テニス部・ソフトボール部が小学生に指導してくれました。

手取り足取り、やさしく声をかけて教えている中学生。それに応えようと一生懸命にがんばる小学生。教える方も、教えられる

方も、最初は少し緊張していました。でも、慣れてくるにつれて、大きな声も出し始め、「できたやん!」「上手になったで!」と励ましの声にうれしそうな反応がかえってきたりして、あたたかい雰囲気につつまれていました。

このように、地域の子どもたちが、地域のお姉ちゃん・お兄ちゃんと一緒に遊び、ふれあいを深めています。3学期は、三宅小学校で、サッカー部と女子バレーボール部のクラブ体験を予定しています。





## いきいき環境フェスタ



▲天美・天美西小児童の合唱

平成19年11月18日(日)、天美西青少年運動広場と今池虹の広場で開催されました。今年度は、大阪府教育委員会の全面的な協力を得て、ワークショップ「子どもの命を育む大人になるために」を開催しました。

今後も「出会い、ふれあい、むすびつき」をキーワードに、地域、学校、家庭が協力して子育てに取り組めます。



▲ワークショップのようす



▲地域の方の体験コーナー



▲天美幼稚園の演技



▲五中生の体験コーナー



エコバッグ▲



## 小中学生をあたたく見守る地域づくり

### 公園美化ボランティア

7月7日(土)天美西公園(通称きこの公園)で行いました。ボランティア募集に名乗りをあげた20名の生徒・職員が、公園用具のペンキ塗り及清掃活動に大活躍しました。土曜日の午前中ということもあり地域の方が散歩に来ておられ、「公園をきれいにしてくれてるんやねえ。ありがとう。」など声をかけていただきました。



### 親子スポーツ交流会

10月13日(土)五中で行われました。

今回が初めての企画で、将来五中に通うことになる校区小学生と保護者、約100人が、グラウンドゴルフをして地域の人達と交流しました。中学生も、スコアラーのボランティアとして参加しました。



### 夏の体験教室

天美小で親子陶芸教室、五中で皆既月食の観察会が行われました。



## 笑顔・夢・ふれあい祭

■11月18日(日) 午前10時から 松原第六中学校グラウンド

今年度の「笑顔・夢・ふれあい祭」は、ステージで岡町学園鼓笛隊演奏からはじまりました。今年も六中フェスタでいろいろな人に聞いてもらおうと練習を重ねてきました。曲は「さくらさくら」と「千の風になって」を発表しました。演奏後はたくさんの拍手。すばらしいオープニングでした。



次は、松原東小学校4年生の学習発表

で、テーマは「水のくらし」ということで、地域の方々やたくさんの方々に協力していただいて学んだ事の発表でした。そして、最後に「川はだれのもの」を合唱しました。水の大切さがよくわかった発表でした。

三番目は、第一保育所5歳児14名の「まつり太鼓」の演奏でした。初夏より取り組み、一人ひとりが大きくなったうれしさを一杯表現した演奏でした。ほんとうにかわいい子ども達の姿に、会場全体が笑顔に包まれました。最後は松原第六中学校吹奏楽部の演奏です。今年も迫力のある演奏に盛大な拍手が送られました。他にグラウンドでは「食体験コーナー」、「スポーツコーナー」「遊び・文化コーナー」があり、今年は例年以上の参加者数でした。今年のフェスタでは、第六中学校の生徒ボランティア「ゴミキャッチャーズ」が大活躍しました。会場をまわってごみを集めている姿に地域の方々から感謝の言葉をかけていただきました。



【移動式ゴミ箱で集めている様子】



## 松風杯ドッジボール大会

■10月6日(土) 松原東小学校グラウンド



松風杯ドッジボール大会は、松原南小学校と松原東小学校の子どもたちの親睦を目的に開催しています。今年は、秋晴れの中、松原東小学校の運動場で開催しました。各学年とも、松原南小学校と松原東小学校の子どもの混合チームを作り、赤組対白組で対戦しました。前半は、赤3勝、白2勝、引き分け1、後半は赤3勝、白2勝、引き分け1で、トータルで赤組が優勝しました。参加した子どもたちは、楽しいひと時を過ごしていました。来年度は、松原南小学校で開催します。



## 国際文化フェスタ

—夢・地域・共に生きる—



11月10日(土)に第13回国際文化フェスタ「夢・地域・共に生きる」を開催しました。七中生ボランティアも活躍するなか、たくさんの方々の支で大成功!!七中校区のパワーを感じた一日でした。



そして生徒会本部で、日本ユニセフ協会を訪れ、フェスタでのバザー収益金を寄付し、困っている多くの人々に役立ててもらおうようお願いをしました。また七中生徒会が取り組んでいる「いじめのない、みんながほっとできる学校づくり」や市内中学校交流会のことを伝えてきました。



## 涼もう会&HOT×ほっと会



毎年恒例となった、七中生徒会主催「涼もう会」を8月1日に行いました。とても暑い日でしたが、七中校区の小学生など、500人を越える参加者があり、PTAや地域協の方々の協力も得て、楽しい一日を過ごすことができました。



また、1月12日には「HOT×ほっと会」を開催しました。あいにくの雨模様でしたが、荘友会のみなさんの餅つきもお手伝いし、つきたてのお餅をおいしくいただきました。生徒会ではこのように地域との絆を大切に、これからも取組を進めたいと思います。